

【離婚調停説明資料サンプル】

§ 家族の状況

【申立人】

妻 ×山子 昭和 年 月 日生
現住所 県 市 町 丁目 番地
TEL ()
最終学歴 平成 年 大学 学部卒業
勤務先 株式会社
TEL ()
役職 部 課 主任
勤務先所在地 県 市 町 丁目 番号
年収 万円

【相手方】

夫 ×山×郎 昭和 年 月 日生
現住所 県 市 町 丁目 番地
TEL ()
最終学歴 昭和 年 月 大学 学部卒業
勤務先 建設株式会社 TEL ()
役職 部 課 課長
勤務先所在地 県 市 区 町 番地
年収 万円

【子】

長男 ×男 平成 年 月 日生
小学校 年生
現住所 県 市 町 丁目 番地
長男は現在、申立人と一緒に生活をしています。

§ 経過

昭和 年 月 相手方×郎、 大学 学部卒業。
昭和 年 月 相手方×郎、 建設株式会社入社。
昭和 年 月 申立人 子、 大学 学部卒業。
昭和 年 月 申立人 子、株式会社 入社
昭和 年 月 申立人と相手方が知り合う。
平成 年 月 市の式場にて結婚式後、婚姻届出。
平成 年 月 長男×男 出生。
平成 年 月 自宅不動産を購入。
平成 年 月 相手方×郎の暴力が激しくなる。申立人 子は再三暴行を受けたことにより精神的にも苦痛を覚える。
平成 年 月 避難のため、申立人 子は、長男を連れて別居。
平成 年 月 離婚について話し合いをする。離婚については双方が合意をしたが、財産分与、婚姻費用、慰謝料、養育費及び長男の親権について話が及ぶと暴力的になり、とても話し合いを進める余地がなく、合意に達する見込みなし。

§ 婚姻の破綻原因と、その証拠

相手方 郎の暴力
医師の診断書及び写真（別添のとおり）

§ すでに行った夫婦間協議の内容

離婚 = 合意成立
子の親権・監護権 = 合意不成立
・夫の主張 「お前には渡さない」の一点張り。
・妻の主張 夫は長男の出生時より、育児に関しては一切協力しておりません。また、夫の両親は遠方に住んでおり、高齢でもあるため、長男の世話は事実上できない状態です。
養育費 = 親権の合意ができていないため、協議にいたっておりません。
慰謝料 = 合意不成立
・夫の主張 上記財産分与に含む
・妻の主張 精神的及び肉体的苦痛を受けた。慰謝料 万円支払え。
財産分与 = 合意不成立
・夫の主張 夫 下記清算財産 万円×60% = 万円
妻 下記清算財産 万円×40% = 万円
・妻の主張 双方とも 下記清算財産 万円×50% = 万円
婚姻費用 = 合意不成立
・夫の主張 妻が勝手に別居した。支払うつもりはない。
・妻の主張 平成 年 月から離婚成立時まで 月 万円

§ 清算対象の財産

自宅不動産

・土地

所在地 県 市 町
地番 番
地目 宅地
地籍 . m²

・建物

所在地 県 市 町 番地
家屋番号 番
種類 居宅
構造 木造トタン屋根 2階建
床面積 1階 . m²
2階 . m²

預貯金

銀行 支店 普通預金 万円

自動車

1台 万円 資産計 万円

負債

住宅ローン(銀行) 万円 負債計 万円

§ 結 論

申立人は、申立書に記載した趣旨のとおり調停を希望します。

なお、申立人は、離婚裁判までの長期化を望みません。ぜひとも本調停での早期解決を願っております。

その点をご配慮くださいますようお願い申し上げます。

以 上